

玉中玄関に「季節のオブジェ」お目見え

平成27年6月26日(金)

文責 校長 太田 恭司

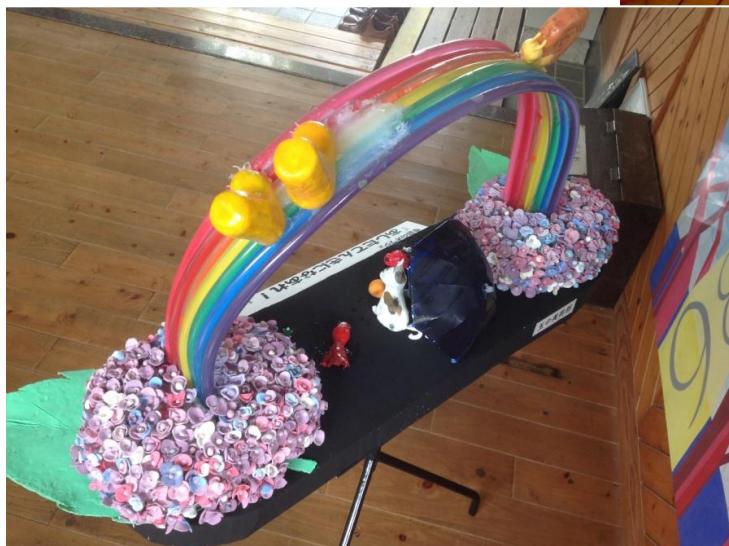
玉名中学校の玄関を入ると、こんなオブジェが迎えてくれます。本校美術部の作品です。タイトルは「あしたてんきになあれ！」です。

玉名管内は、10日後に中体連大会を控えていますが、今日もうつとうしい梅雨空が広がっています。しかし、このオブジェに心が和みそうです。本校を訪れるお客様も、足を止めて、鑑賞してくださっています。中には、「これ素敵！」という声も、校長室に届いてきます。



あじさいの花に、虹の架け橋がかかり、雨が上がるのを予感させます。その上にはカタツムリと長靴が。下には、「明日天気になあれ」と願いながら、傘をさしている子猫と、雨を楽しんでいる金魚や亀が対照的です。

実は、ここには、ちょっとした仕掛けが。生き物だけに○○○そうです。



是非、近くで見てください。あじさいの花びら1枚1枚の造り込みは必見です。

美術部の皆さん、うつとうしい梅雨を心豊かなものにしようと、思い立ち(自立)、部員とともに力を合わせ(協働)、新たな手法で創り上げた(創造)力作です。



【部長の山田さん、副部長の山本さんのコメント】

虹をどう表現するかという点で苦戦しましたが、最終的には透明のホースに色水を入れて曲げるための柔軟性に優れたアイデアが出ました。美術部全員で考え、固めた作品です。これぞ「雨降って地固まる」だと…(笑)

玉中に架かった虹、是非ご覧ください。